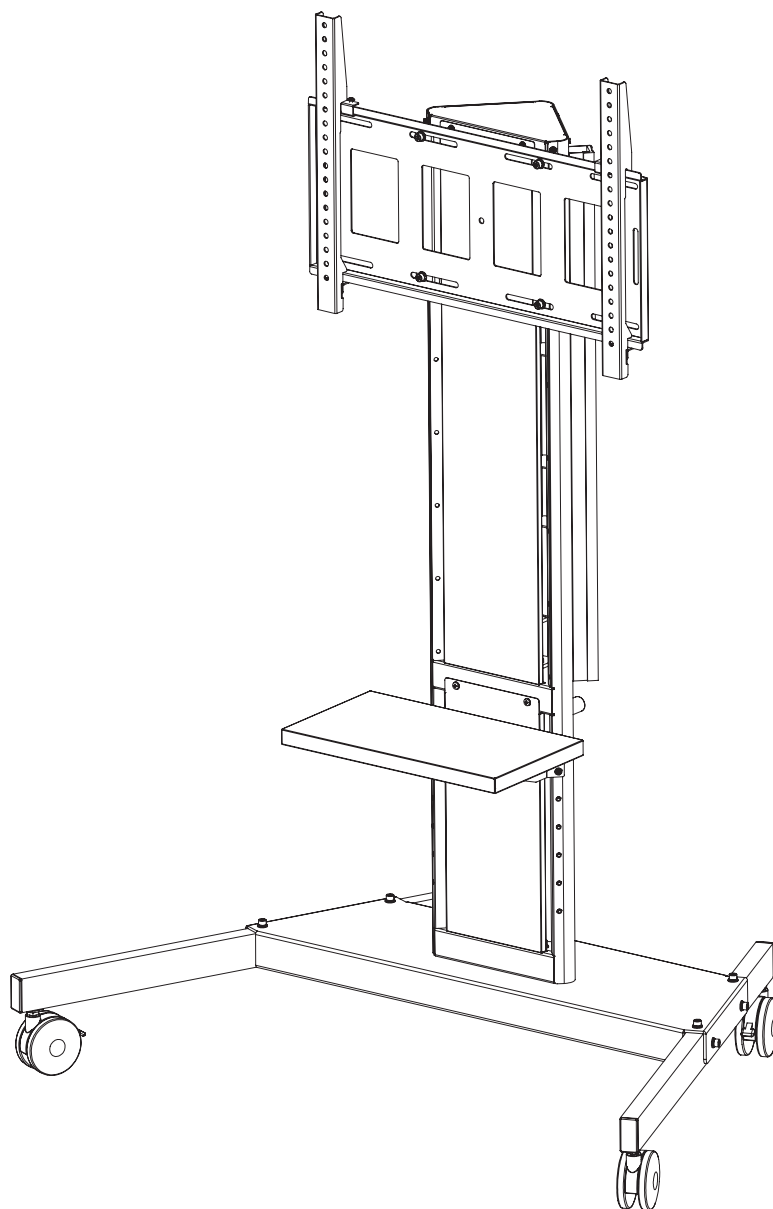


取扱説明書

ハンドル昇降スタンド

型番
DS-MH80



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

目次

■ 安全上のご注意	1-2
■ 製品概要	3
■ 梱包内容	3-4
■ 「キャスター」の固定	5
■ 「レッグつなぎ」を「レッグ」に取り付ける	5
■ 発泡シートを「支柱」から取り外す	6
■ 「支柱」を「レッグつなぎ」に取り付ける	7
■ 「ブラケット」をディスプレイに取り付ける	8
■ 「ベース金具」を「支柱」に取り付ける	9
■ ディスプレイを「ベース金具」に取り付ける	9
■ 「昇降用ハンドル」を「支柱」に取り付ける	10
■ 「棚板」を「支柱」に取り付ける	11
■ 「ケーブルダクト」を「支柱」に取り付ける	12
■ ディスプレイや搭載機器の配線処理について	13
■ 「スタンド」の移動について	13
■ 「昇降用ハンドル」によるディスプレイの高さ調節	14-16
■ 「スタンド」の移動について	17

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
---	---

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	

⚠ 警告



記載している耐荷重を超えるディスプレイは取り付けしないでください。耐荷重を超えた質量のディスプレイを取り付けると、ディスプレイの落下・破損など事故の原因となります。



本製品の改造・変更は行わないでください。金具やディスプレイ落下などによる破損・けがの原因となります。



本製品を設置する際は、揺れや振動の多い場所には設置しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。



ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は、必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

⚠ 注意



移動時以外は、キャスターをロックしてください。何らかの衝撃や地震などの揺れで、本製品が自走して本製品や機器の破損・けがの原因となります。



安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。



棚板に機器を設置する場合は、棚板から大きくはみ出すサイズのものやはみ出した位置には設置しないでください。製品や設置された機器の落下などによる破損・けがの原因となります。



本製品を移動する際は、棚板に設置された機器が落下しないよう慎重に移動させてください。

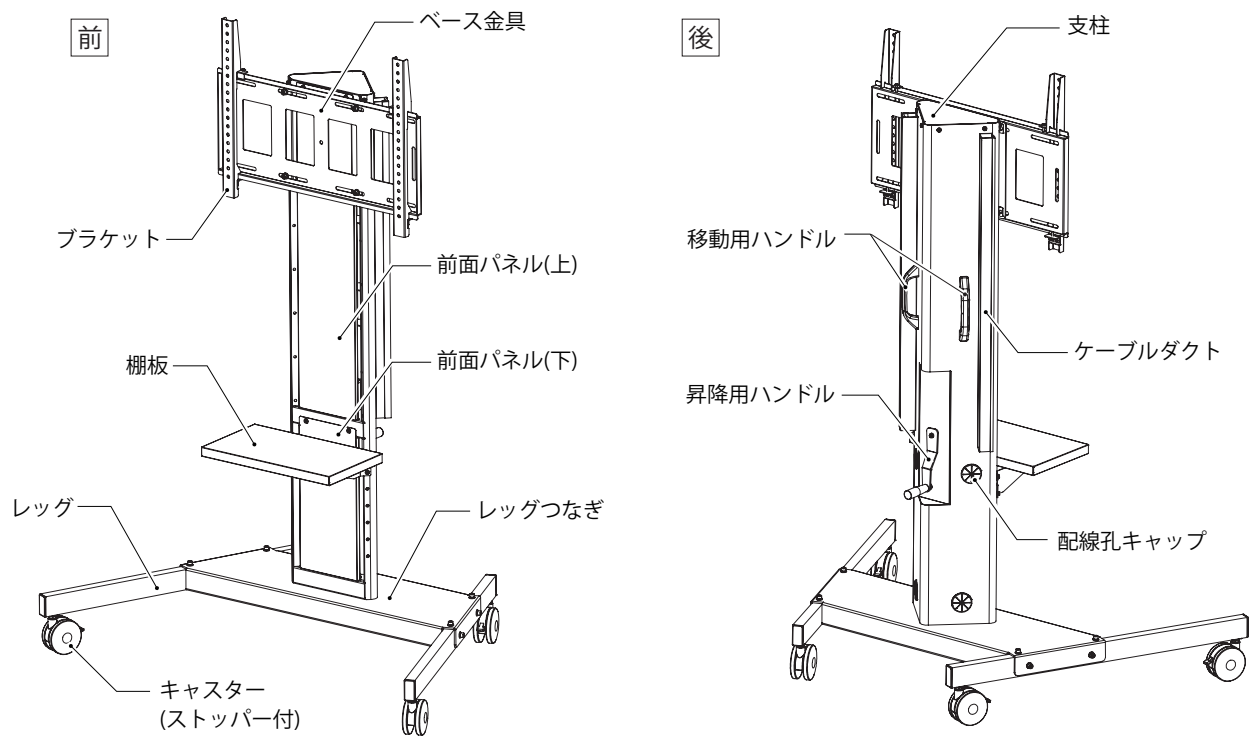
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：marketing@forvice.co.jp

製品概要

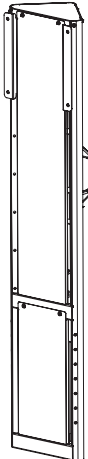
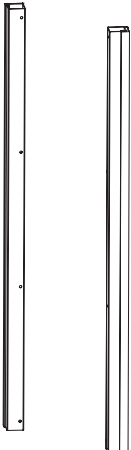
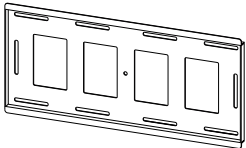
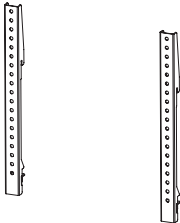
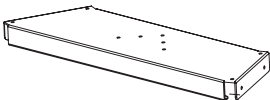
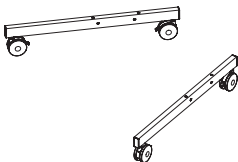
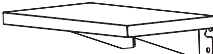
ハンドル昇降スタンド



型 番	DS-MH80
質 量	約70.0kg
耐荷重	80kg

梱包内容

部品・付属品

				
支柱…1本	ケーブルダクト…2本	ベース金具…1個	ブラケット…2本	昇降用ハンドル…1個
				
		レッグつなぎ…1個	レッグ(キャスター付き)…2本	棚板…1個

梱包内容

つづき

部品・付属品				
タッピンネジ (M4×8) …8本	アプセットセムス P=3 (M5×12)…4本	アプセットセムス P=3 (M6×16)…1本	六角穴付セムス P=3 (M8×20)…12本	六角穴付セムス P=3 (M8×30)…5本
六角レンチ(対辺6mm) …1本	取扱説明書 … 1部			

ベース金具(型番：FFP-SW-T700F)用付属品				
ナベセムス P=3 (M6×14)…4本	ナベセムス P=3 (M6×18)…4本	ナベセムス P=3 (M8×20)…4本	M6 取り付け用スペーサー …4個	FFP-SW-T700F取扱説明書 … 1部
バインド小ネジ (M5×20) …2本	ズレ防止金具…2個			

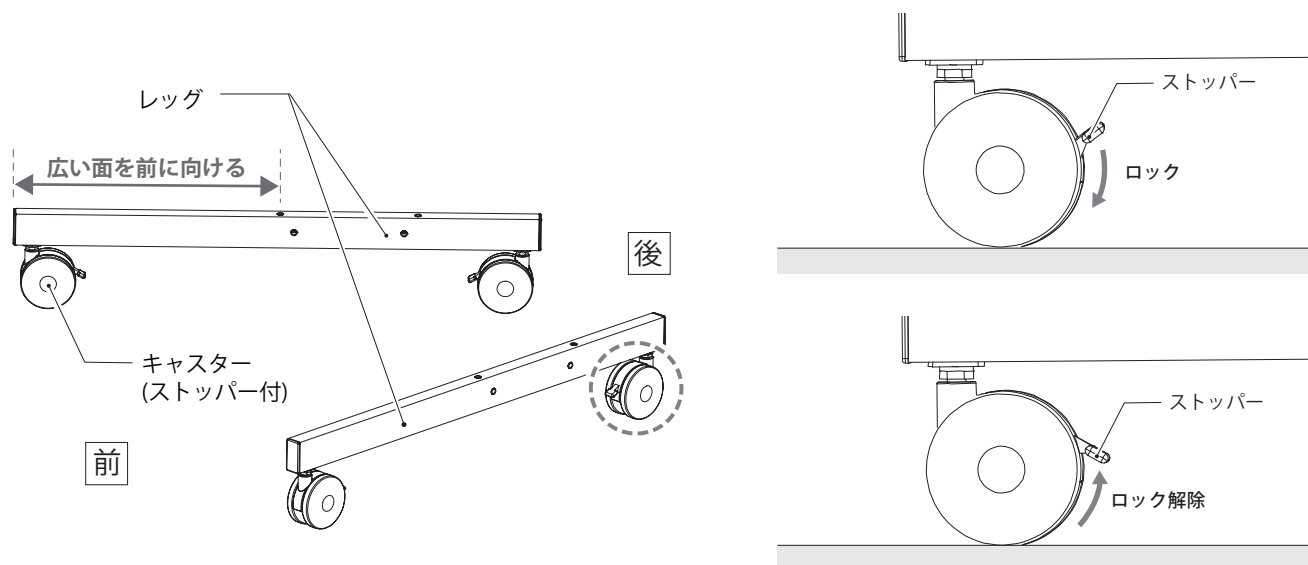
※ベース金具は型番：FFP-SW-T700F の金具や付属品を使用しています。

※六角レンチ以外の工具は付属しておりませんので、お客様や設置する方でのご用意となります。

「キャスター」の固定

「レッグ」の「キャスター」全てにストッパーが付いています。組み立て作業や高さ調節を行う前に「キャスター」のストッパーをロックし、安定した状態で作業を行ってください。

※ レッグは端から取付穴までの距離が広いほうを前にしてください。



やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒やけがの原因となります。



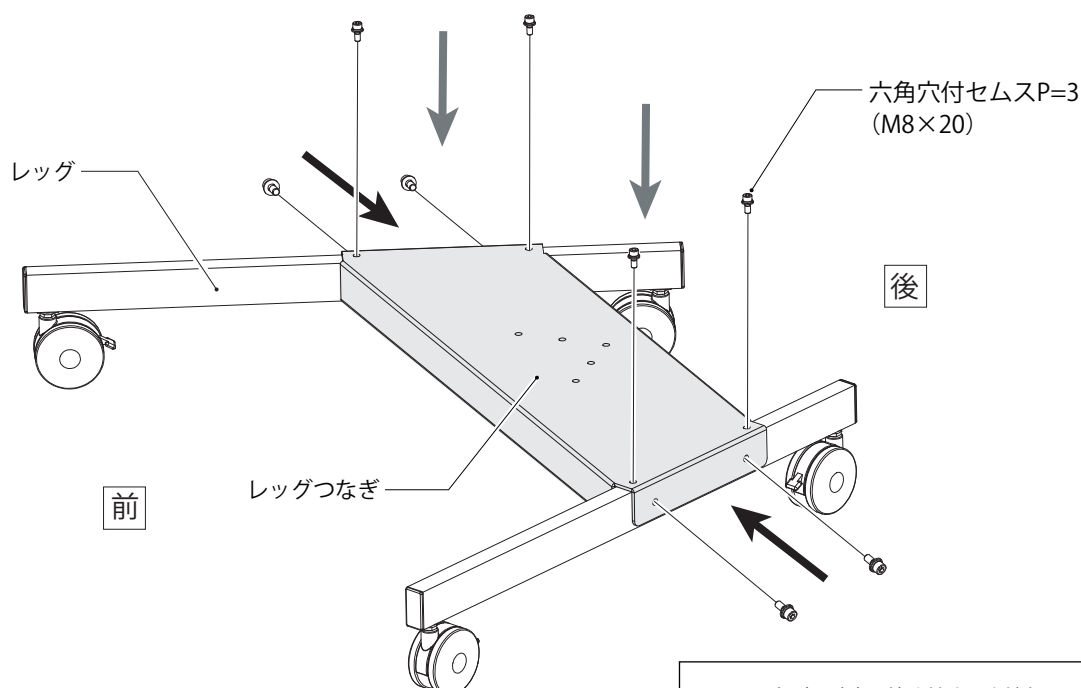
移動時以外は、キャスターをロックしてください。地震などの揺れで、本製品が自走して破損・けがの原因となります。

「レッグつなぎ」を「レッグ」に取り付ける

「レッグつなぎ」を付属の「六角穴付セムスP=3 (M8×20)」8本で「レッグ」に取り付けます。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)



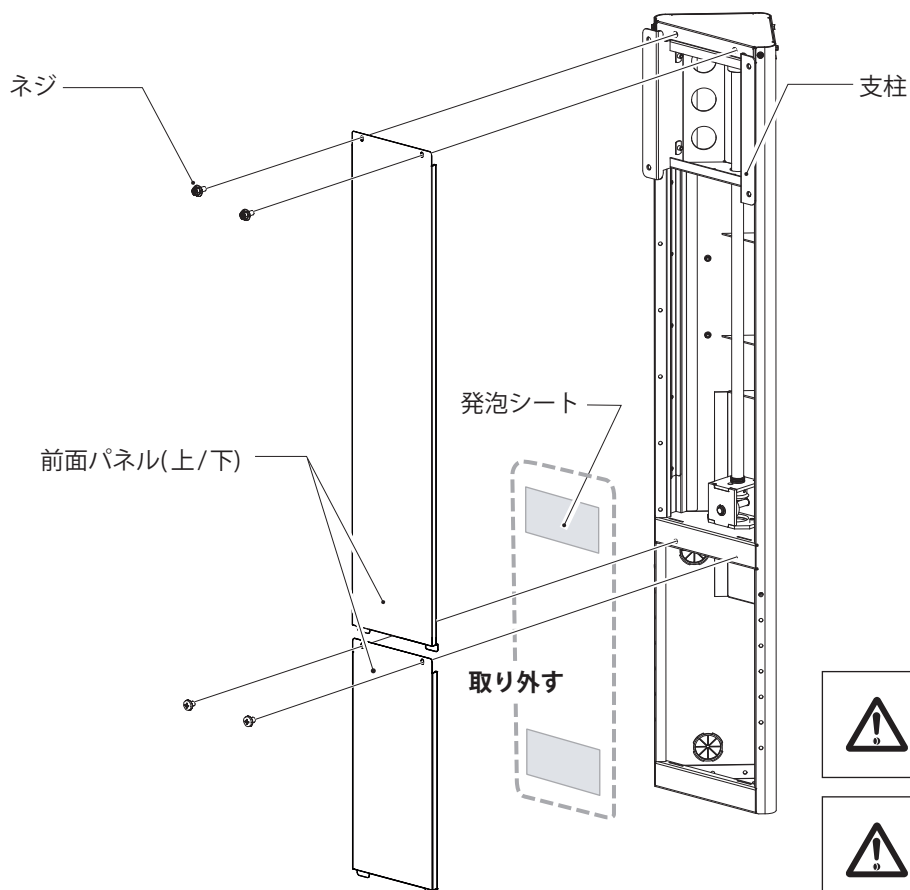
ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

発泡シートを「支柱」から取り外す

1. 「支柱」に取り付けている「前面パネル(上/下)」のネジを外し、「前面パネル(上/下)」を軽く持ち上げて取り外します。
2. 金具の緩衝材として挟んでいる「発泡シート」を取り外してください。

使用する工具

プラスドライバー

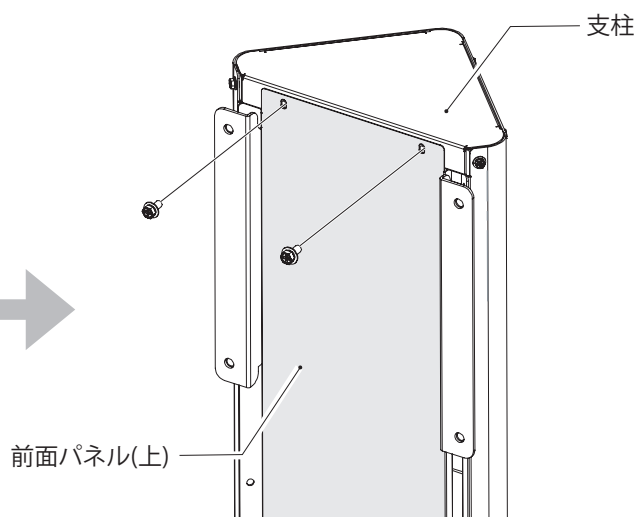
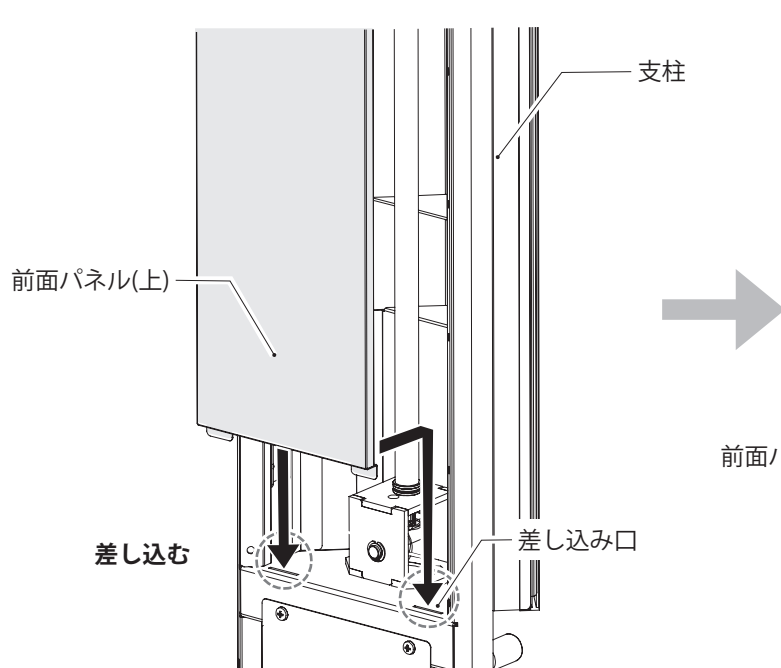


支柱内上部の機構部には必ず触れないでください。
本製品の破損・けがの原因となります。



取り外したネジに関しては無くさないように
お客様自身でわかりやすい場所に保管してください。

3. 「前面パネル(上)」のみを再度、取り付けます。
取り付ける際は「前面パネル(上)」下部の引っ掛け部を「支柱」中間部にある差し込み口に差し込んでからネジ止めをしてください。



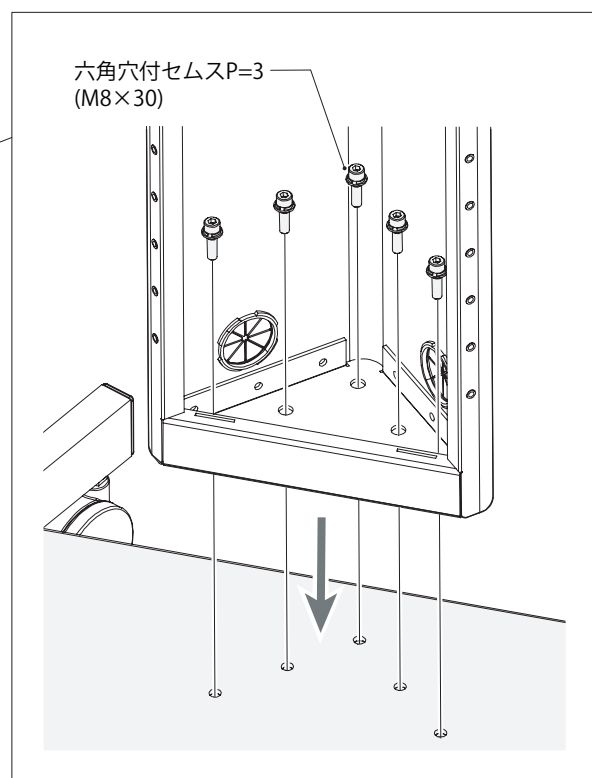
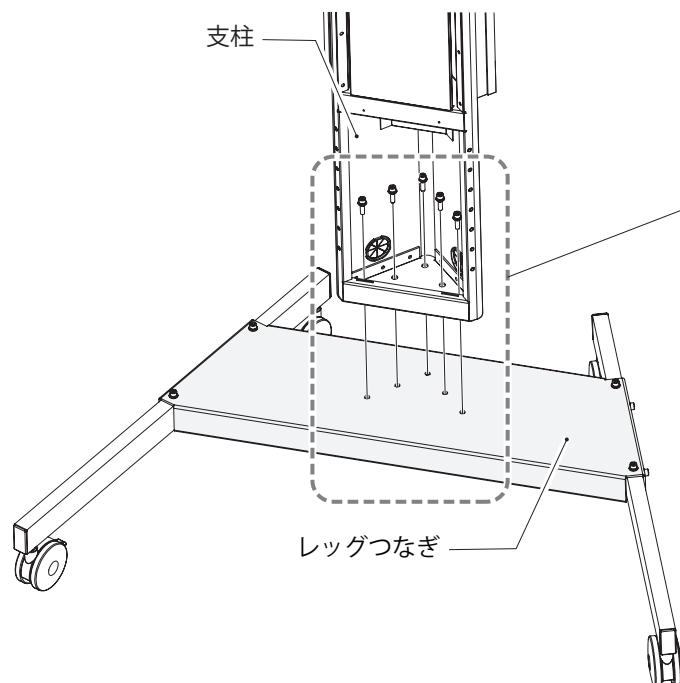
ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「支柱」を「レッグつなぎ」に取り付ける

1. 「支柱」と「レッグ」の取付穴の位置を合わせて、「支柱」の内側から「六角穴付セムスP=3 (M8×30)」5本を取り付けてください。

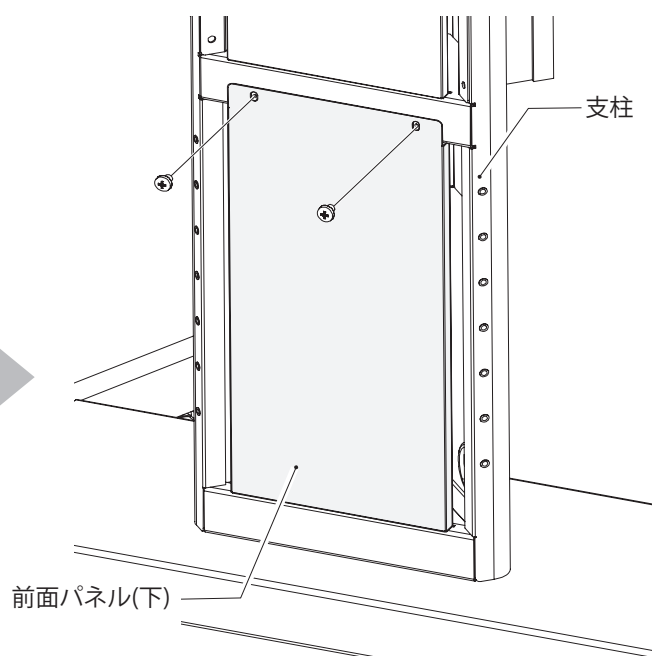
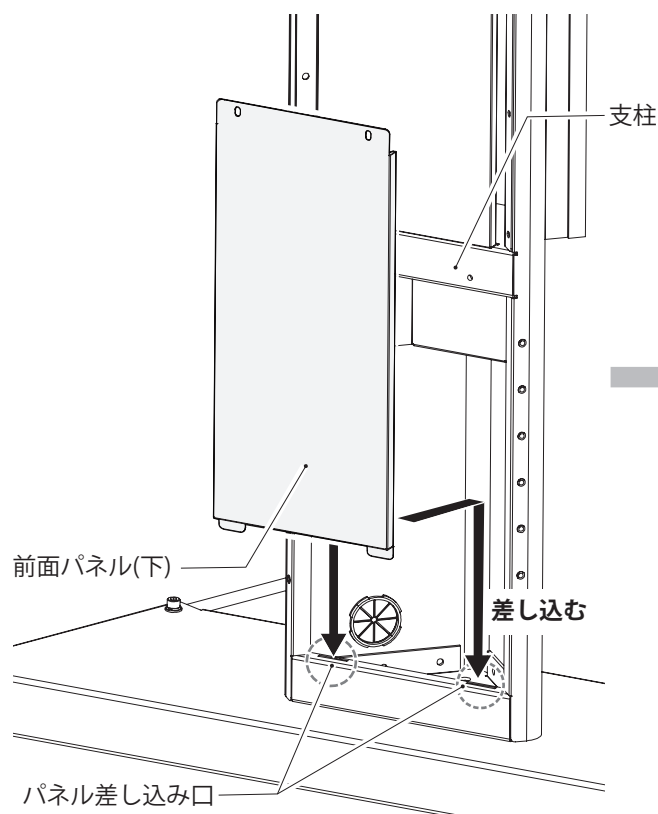
使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

2. P.5「発泡シートを支柱から取り外す」で取り外した「支柱」の「前面パネル(下)」を再度、取り付けます。取り付けの際は「前面パネル(下)」を「支柱」下部の差し込み口に差し込んでからP.5で取り外したネジを使用してネジ止めを行ってください。



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「ブラケット」をディスプレイに取り付ける

1. ディスプレイは画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 付属の「ナベセムSP=3(M6×14/M6×18/M8×20)」から、ディスプレイの取付穴に合ったネジを選定し、「ブラケット」をディスプレイに取り付けます。

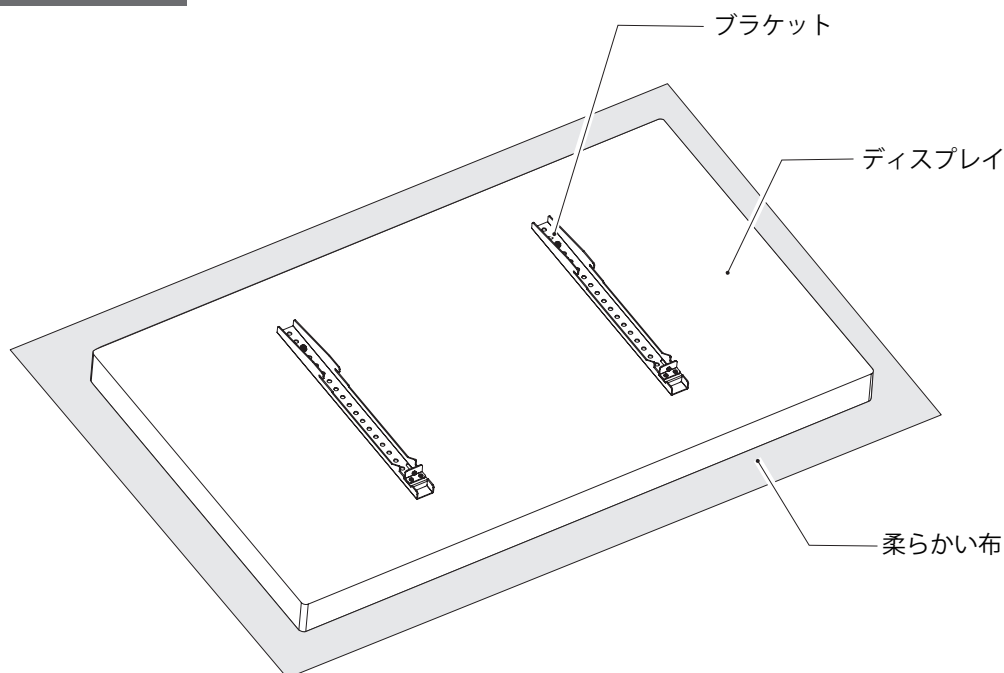
使用する工具

プラスドライバー

※ M6ネジを使用時のみ、付属の「M6ネジ取付用スペーサー」をご使用ください。

※ 取り付け方法は、付属のFFP-SW-T700F用の取扱説明書(P.5「モニターブラケットをディスプレイに取り付ける」)をご参照ください。

ブラケット取り付け後の状態



取り付けの際は、取付穴の深さをメーカーの取扱説明書やホームページなどでご確認の上、深さに合ったネジを選定してください。



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



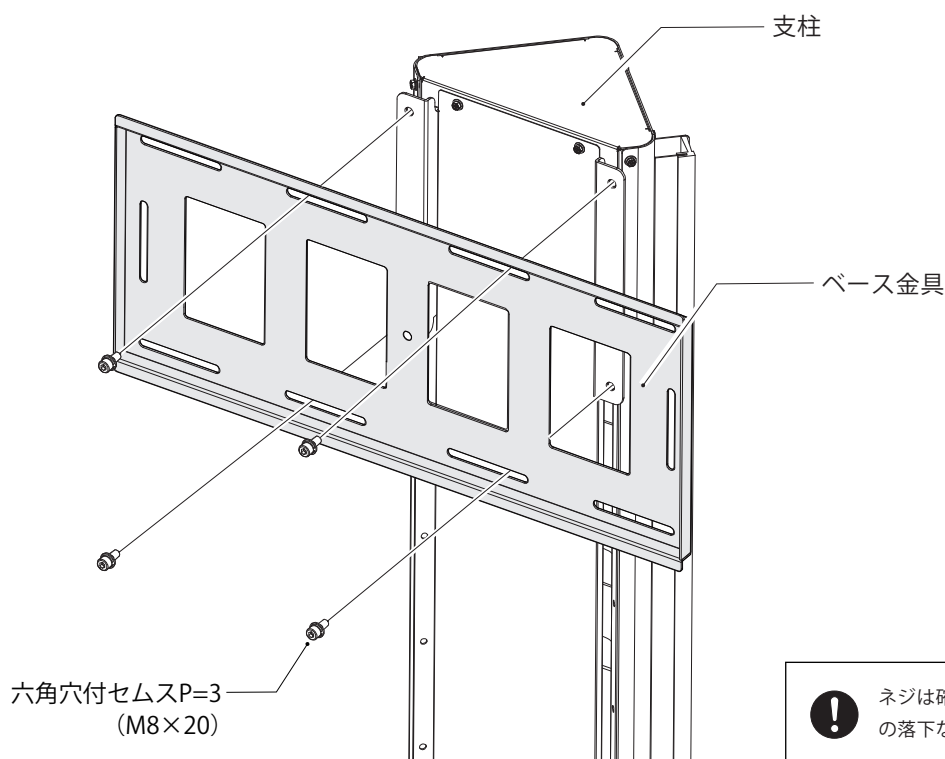
ディスプレイを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。画面に異常をきたす原因となります。

「ベース金具」を「支柱」に取り付ける

「ベース金具」を付属の「六角穴付セムスP=3(M8×20)」4本で、「支柱」に取り付けます。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

ディスプレイを「ベース金具」に取り付ける

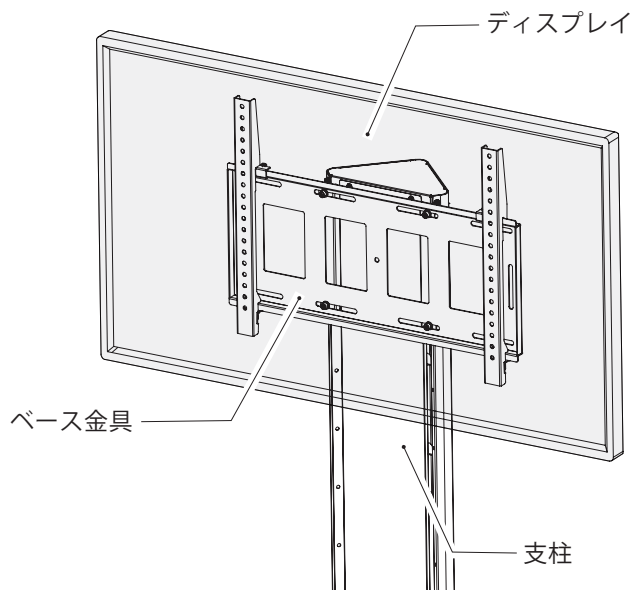
ディスプレイを「ベース金具」に取り付けます。

※ 取り付け方法は、付属のFFP-SW-T700F用の取扱説明書 (P.6「ディスプレイをベース金具に取り付ける」) をご参照ください。

使用する工具

プラスドライバー

ディスプレイ取り付け後の状態



ディスプレイを本製品に取り付け・取り外しする際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



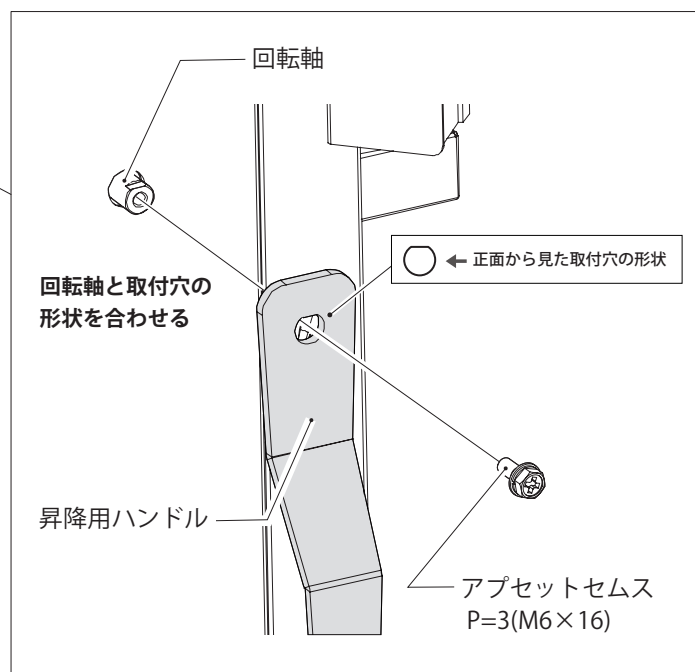
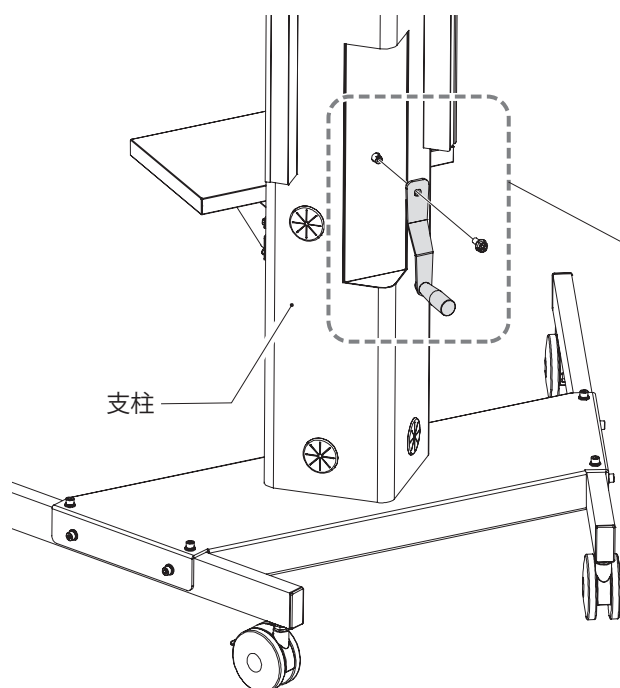
ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「昇降用ハンドル」を「支柱」に取り付ける

付属の「アプセットセムス P=3(M6×16)」で、「昇降用ハンドル」を「支柱」に取り付けます。
取り付ける際、「昇降用ハンドル」の取付穴と回転軸の形状が一致するようにしてください。

使用する工具

プラスドライバー



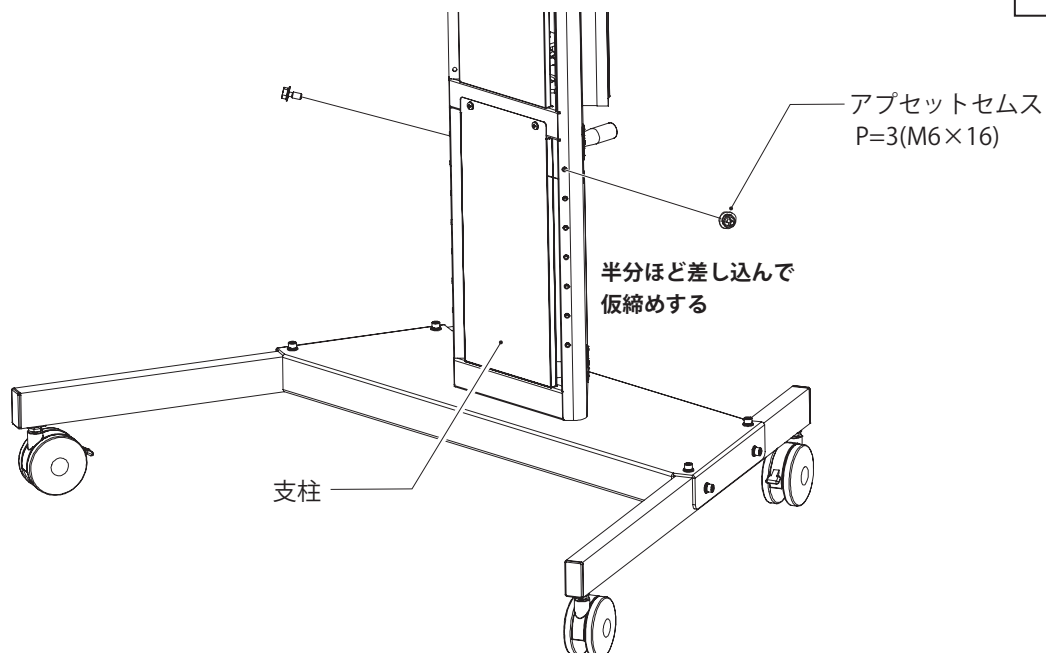
ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「棚板」を「支柱」に取り付ける

1. 「棚板」の取り付け位置を決め、付属の「アプセットセムス P=3(M5×12)」2本を「支柱」の左右側面に半分ほど差し込み、仮締めしてください。

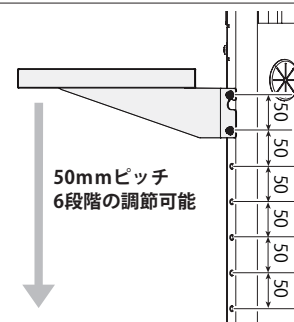
使用する工具

プラスドライバー

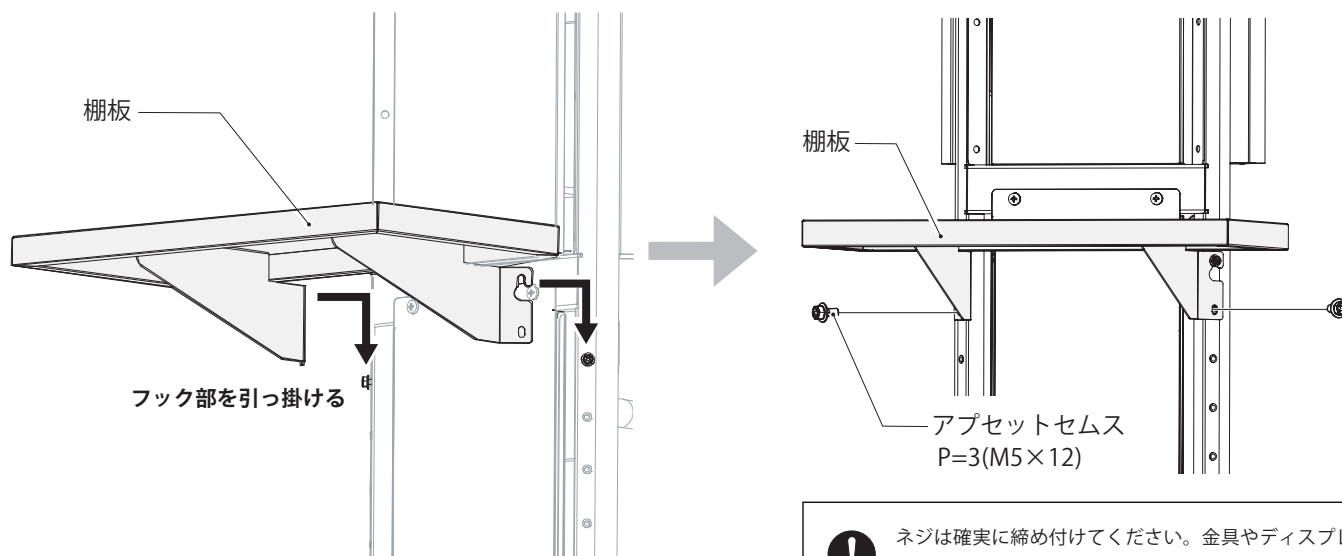


棚板の取り付け位置

「棚板」の取り付け高さは、50mmピッチで6段階の高さ調節が可能です。



2. 1.で取り付けした「アプセットセムス P=3(M5×12)」に「棚板」のフック部を引っ掛けた後、同時に「棚板」の下側を「アプセットセムス P=3(M5×12)」2本を「支柱」に取り付けます。最後に全てのボルトを本締めしてください。



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

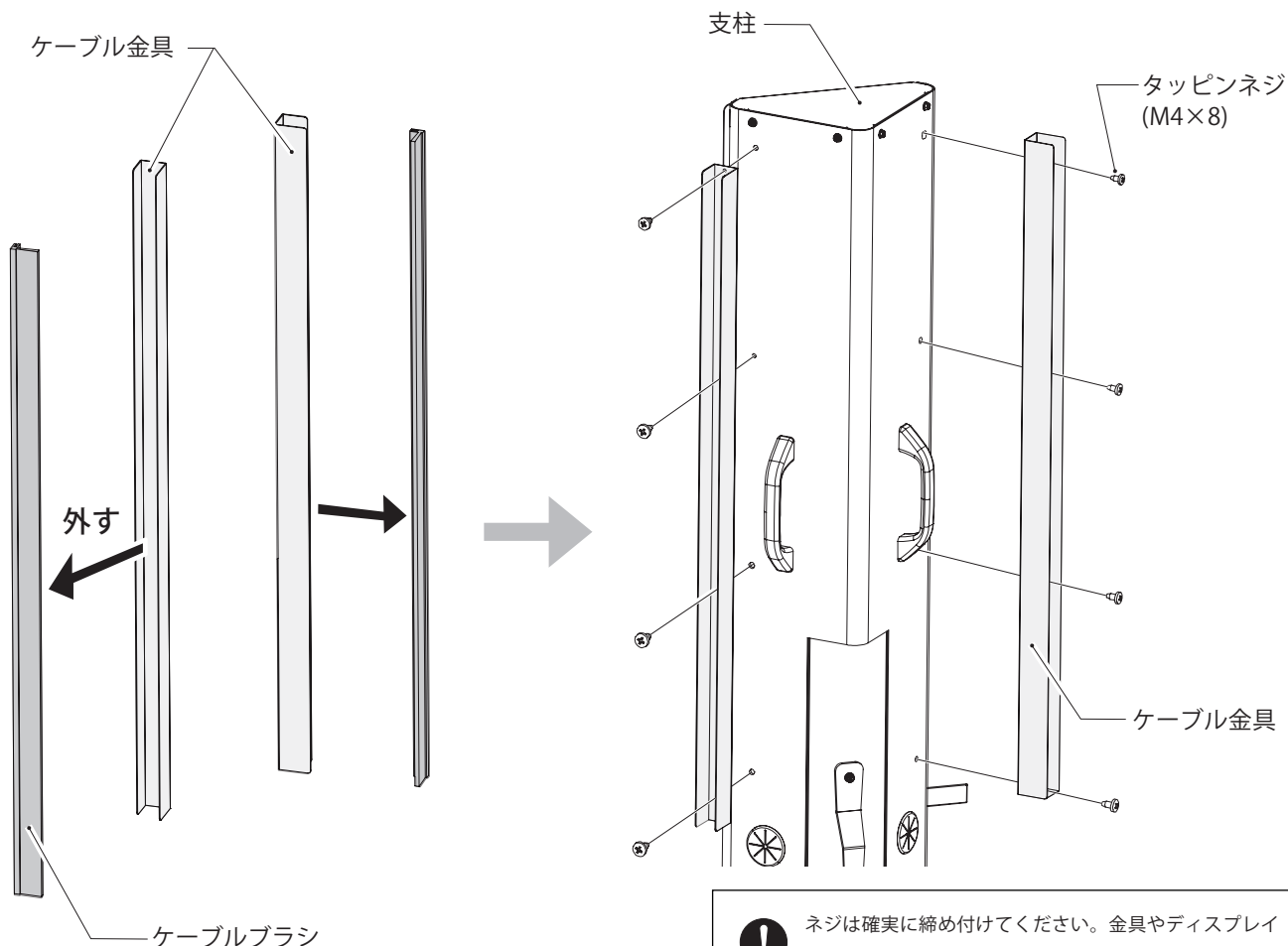
「ケーブルダクト」を「支柱」に取り付ける

・ディスプレイや搭載機器のケーブルを「ケーブルダクト」で隠すことができます。

1. 取り付けやすくするために、「ケーブル金具」に取り付けられた「ケーブルブラシ」を外してください。
2. 「ケーブル金具」を付属の「タッピンネジ(M4×8)」8本で「支柱」の左右側面に取り付けます。

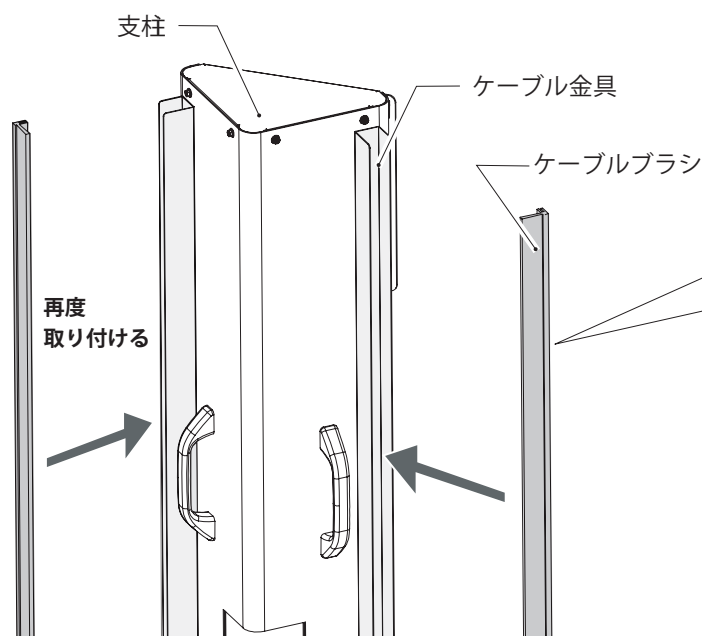
使用する工具

プラスドライバー



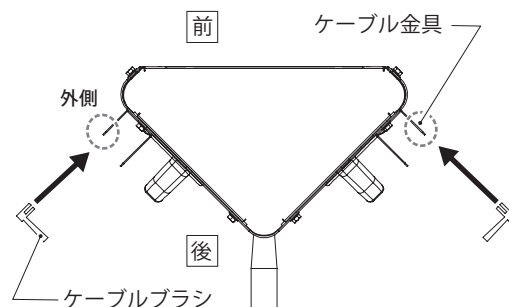
ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

3. 1.で取り外した「ケーブルブラシ」を再度、「ケーブル金具」に取り付けます。「ケーブルブラシ」の取り付け向きに気を付けて取り付けを行ってください。



上から見た図

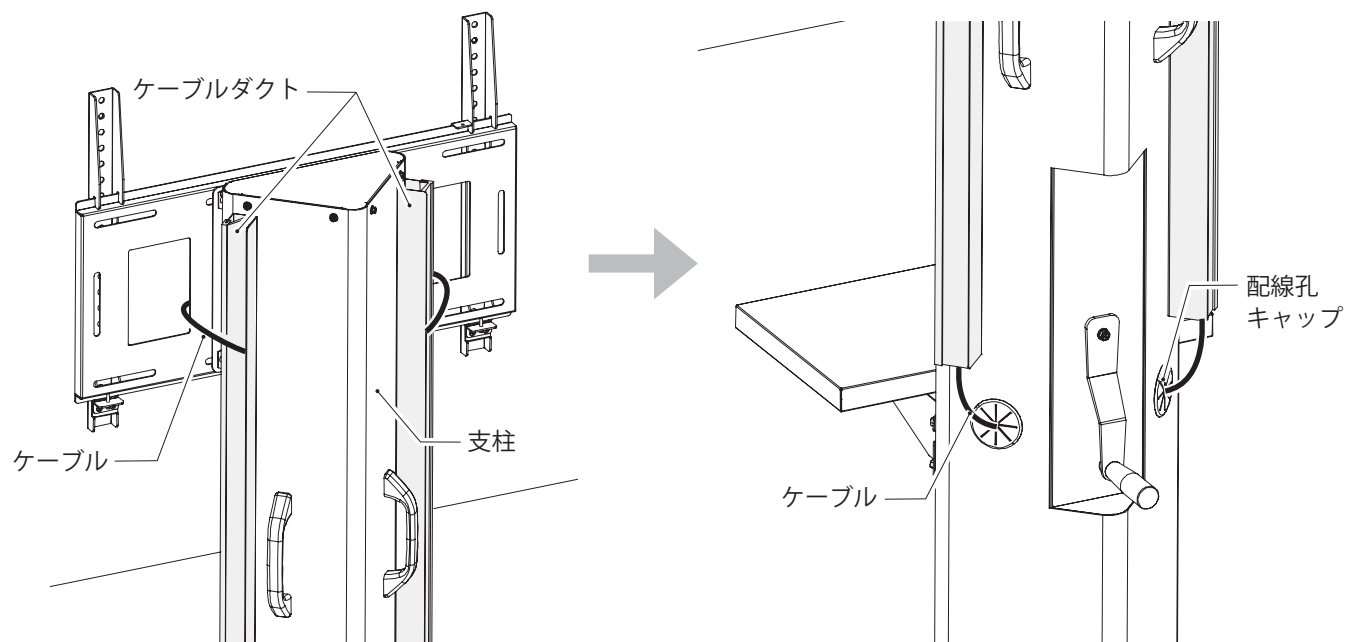
ケーブルブラシの差し込み口は
ケーブル金具の外側に取り付けてください



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

ディスプレイや搭載機器の配線処理について

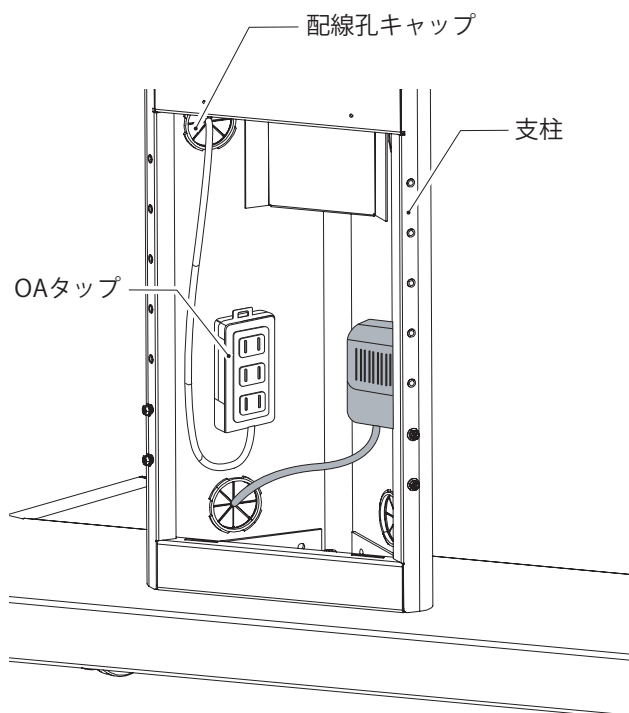
- ・ディスプレイのケーブルは「ケーブルダクト」に通し、支柱下部に取り付けられた「配線孔キャップ」を使用して処理を行ってください。



OA タップや搭載機器などを設置する場合

- ・支柱下部にOAタップや搭載機器を設置することができます。
 - ・設置する場合は、支柱下部の「前面パネル(下)」を取り外し、支柱内にOAタップや搭載機器を設置してください。
- ※「前面パネル(下)」の取り外し方に関しては、P.6「発砲シートを支柱から取り外す」をご参照ください。

設置した場合の図



「昇降用ハンドル」によるディスプレイの高さ調節

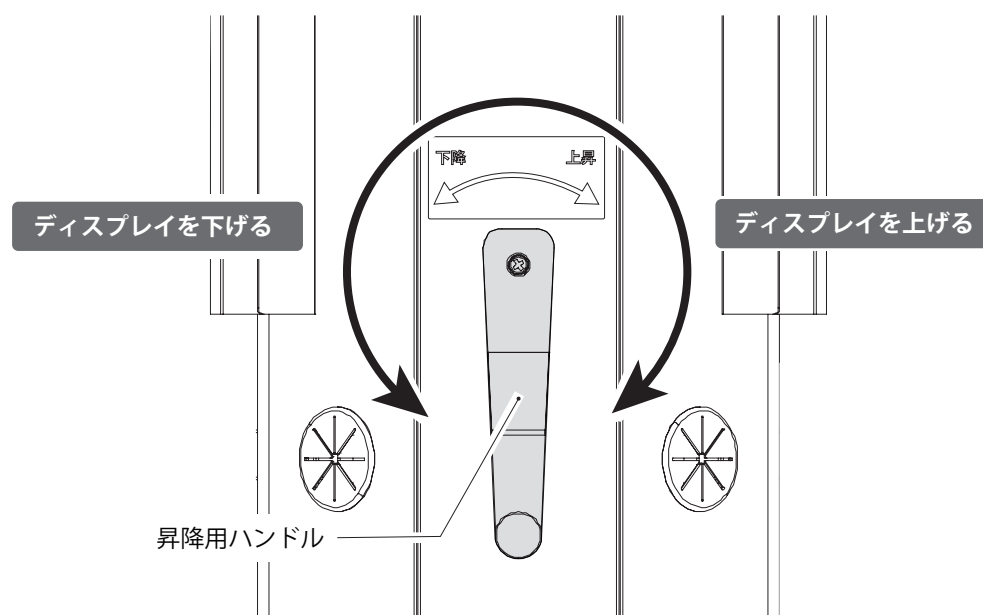
支柱背面にある「昇降用ハンドル」を、回すことでディスプレイの高さを調節することができます。
「昇降用ハンドル」を止めた位置で高さは固定されます。

※ディスプレイの昇降範囲は600mmです。

※ディスプレイのサイズや棚板の高さによって、昇降範囲が異なります。

操作を行う際はディスプレイを随時確認しながら、行ってください。

ハンドルによる高さ調節



ディスプレイの位置を高くしたい場合	時計回りに回す
ディスプレイの位置を低くしたい場合	反時計回りに回す



ディスプレイのサイズや棚板の高さ位置によって、ディスプレイと棚板が干渉する可能性があります。調節作業を行う際は、必ず昇降位置を確認しながら行ってください。干渉が起きた場合、ディスプレイや本製品の破損・故障の原因となります。

「昇降用ハンドル」によるディスプレイの高さ調節

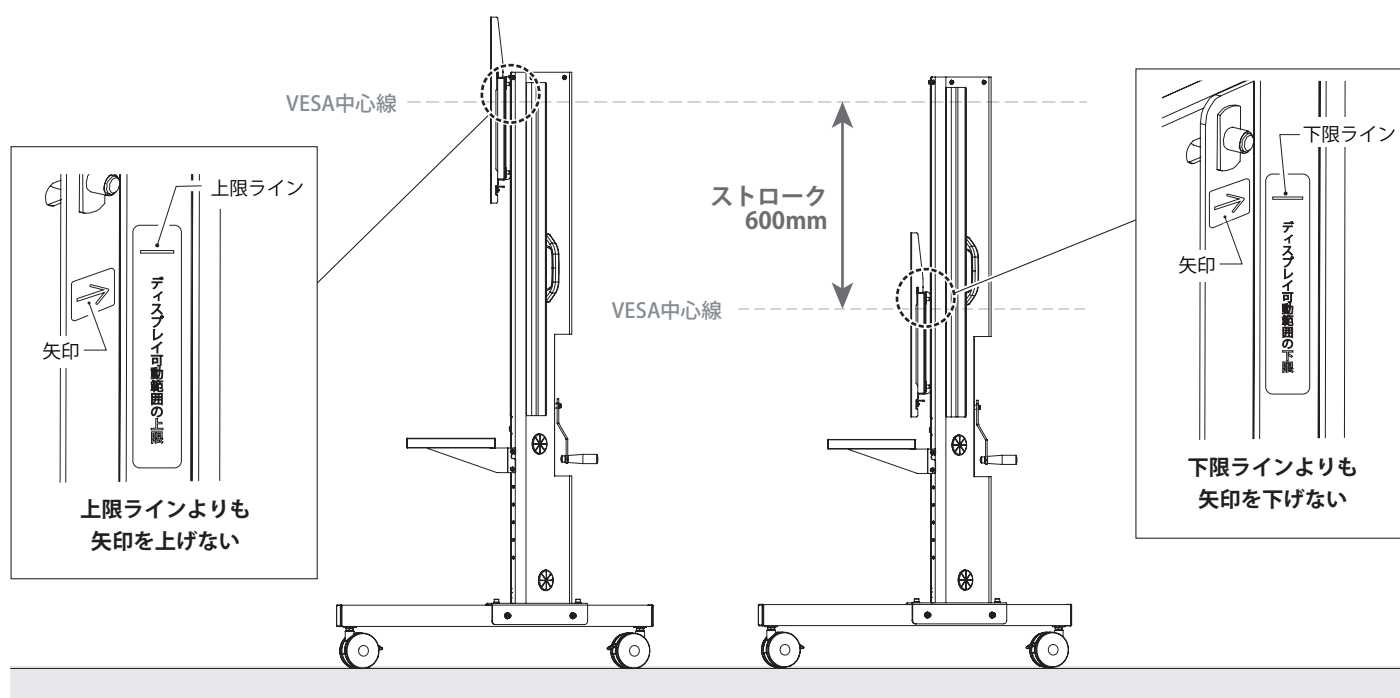
つづき

高さの上限・下限について

- 支柱側面に昇降範囲の上限ラインと下限ラインを記載しています。操作を行う際は側面を確認しながら、行ってください。

※ベース金具背面の矢印が各ラインを越えないようにしてください。

※各ラインを越えようとした場合、ハンドルの動作が重くなります。その時点でハンドルを回すのを必ずやめてください。



ハンドルでの高さ調節の際は、支柱側面に記載されている上限ライン・下限ラインを越えないようにしてください。本製品の破損・故障の原因となります。

「昇降用ハンドル」によるディスプレイの高さ調節

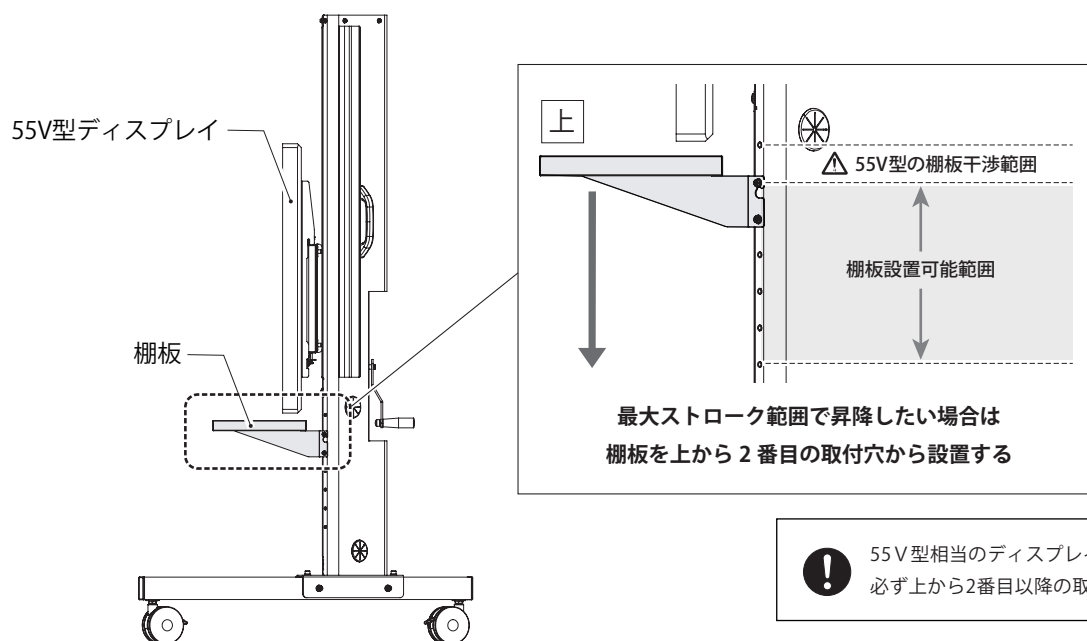
つづき

高さ調節をストローク最大値まで行いたい場合

- ・使用ディスプレイのサイズによって、昇降範囲 600mmまでストロークできない場合があります。
最大ストローク 600mmまで下降する場合は以下の図を参考に棚板の取付位置を変更してください。
※高さ調節の際は必ずディスプレイの位置を把握・確認しながら、行ってください。

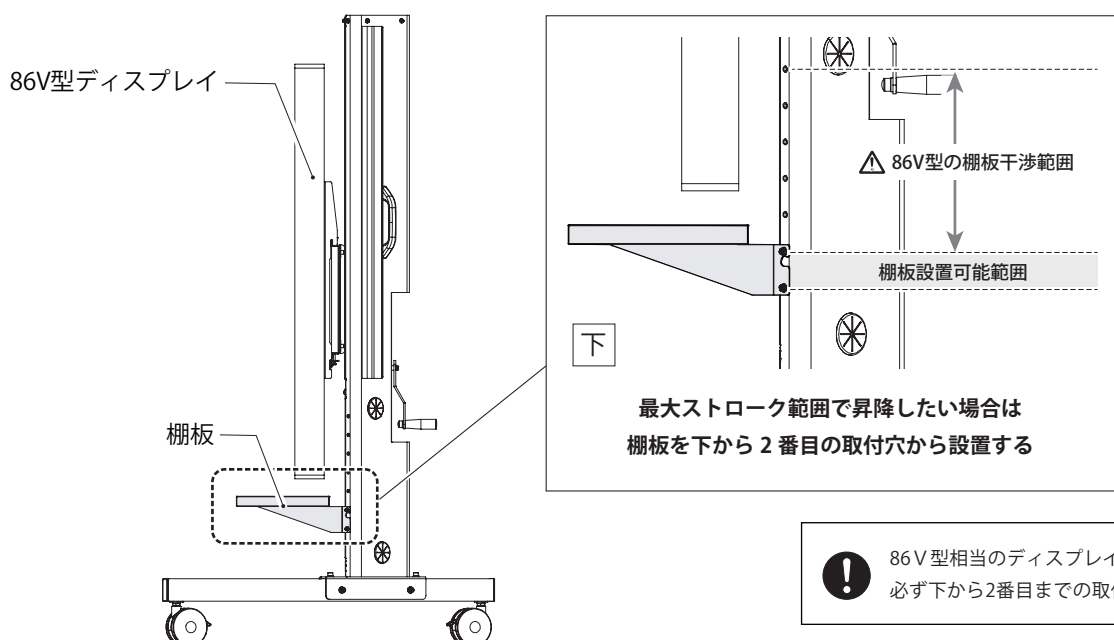
55V型ディスプレイの場合の目安

※ディスプレイを600mm下降した状態



86V型ディスプレイの場合の目安

※ディスプレイを600mm下降した状態

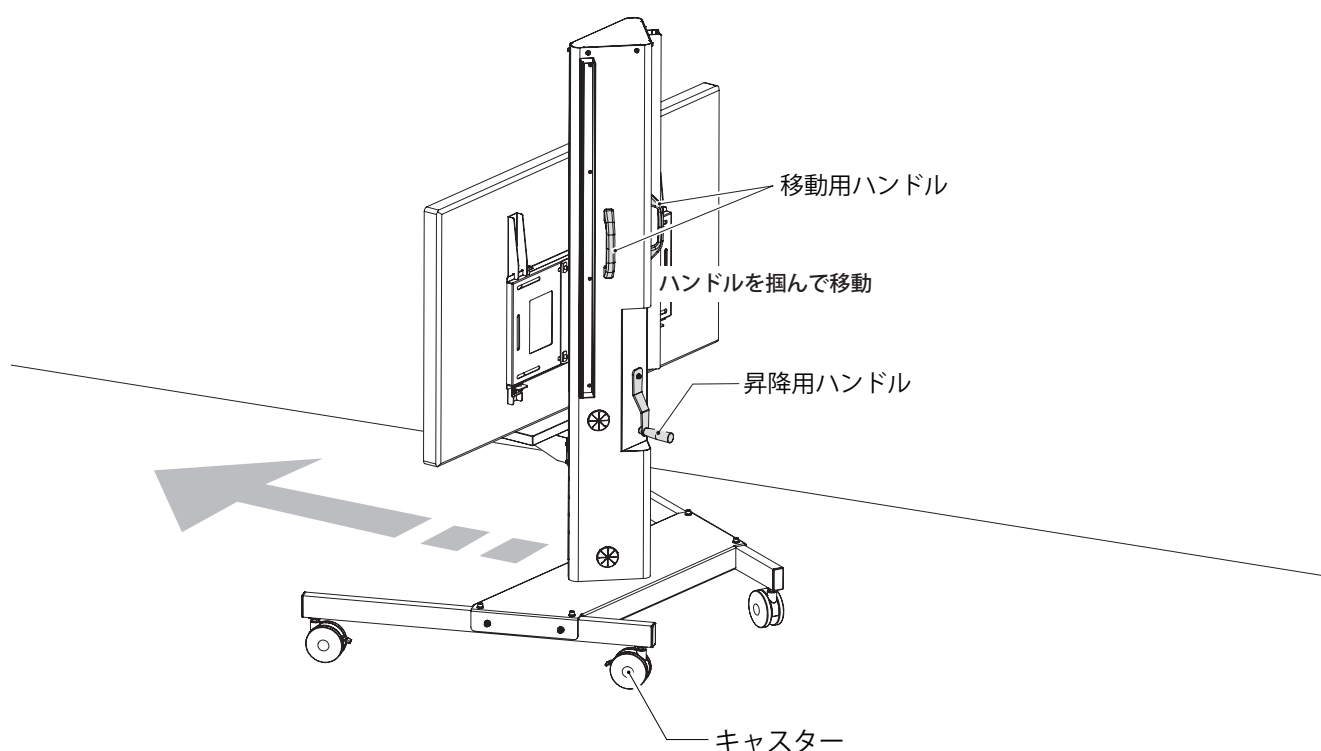


「スタンド」の移動について

- 本製品を移動させる前に「キャスター」のロックを解除してください。
- 設置場所では必ず「キャスター」をロックしてください。
- 移動する際は「昇降用ハンドル」でディスプレイの高さを棚板に干渉しない位置まで下げてから、支柱背面の「移動用ハンドル」を掴んで2人以上で移動させてください。

※ ディスプレイの大きさによって前方が確認できない場合があります。周囲をよく確認しながら、移動してください。

※ ディスプレイの大きさによって昇降範囲の下限が異なります。



やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。
本製品の転倒やけがの原因となります。



移動時以外は、キャスターのロックをかけてください。
地震などの揺れで、本製品が自走し得て破損・けがの原因となります。